

1. JFE スチール株式会社西日本製鉄所（福山地区）様が ISO39001（道路交通安全マネジメントシステム）の認証を取得しました。

JICQA は 2015 年 9 月 17 日、道路交通安全マネジメントシステム(Road traffic safety management systems, RTSMS)の国際規格である「ISO39001」に基づき、JFE スチール株式会社西日本製鉄所(福山地区)様(所在地: 広島県福山市、所長: 渡邊誠様)を認証しました。



今回の ISO39001 認証登録は大規模事業所としては日本で初めて(JICQA 調べ)となります。認証範囲は「西日本製鉄所(福山地区)の構内における間接部門(補助部門および常駐する協力会社)も含めた人の移動ならびに通勤に関する道路交通安全活動」で、グループの物流企業や常駐する協力会社 80 社も含まれ、対象人数は 12,000 人に達します。

10 月 8 日に西日本製鉄所(福山地区)構内にて行われた登録証授与式の冒頭、同社の常務執行役員西日本製鉄所福山地区副所長の福島裕法様が「これまでとは違う観点で、交通安全活動を見直そうと ISO39001 を導入した。皆が活動に参加し、マネジメントシステムを有効活用することで人身事故ゼロを目指すのはもちろん、地元福山市の交通安全の向上にも寄与したい」と ISO39001 認証取得の目的や抱負を述べられました。

続いて弊社代表取締役社長の川崎が「ISO 認証取得のメリットには活動の定着性、第三者性、継続的改善の 3 つが挙げられる。大規模事業所で初めての ISO39001 認証取得には大きな意義があり、ぜひ協力会社や地域と共に道路交通安全活動を活性化させて欲しい」と、今後の JFE スチール様の活動への期待を述べました。

なお、授与式には多数の報道機関が取材に訪れ、各紙に報じられました。

今回、鉄鋼業である JFE スチール様が認証を取得されたことは、これまで運輸・物流業を中心として普及してきた ISO39001 が、それ以外の業種においても交通安全活動の一環として活用可能であることを表しており、この規格の普及にとって非常に意義深い事例であると言えます。

JICQA では今後も様々な業界で ISO39001 の普及を進めることで、我が国の道路交通安全の向上に寄与して参ります。

【JFE スチール株式会社西日本製鉄所】

JFE スチール株式会社西日本製鉄所に関する情報は、ホームページをご参照ください。

URL : <http://www.jfe-steel.co.jp/works/west/index.html>

★ISO39001 認証取得に関する福島様と川崎の対談を、JICQA ホームページにてご紹介しています。ぜひご覧ください。

★JICQA の ISO39001 審査についての詳細については JICQA ホームページをご覧ください。

◆ 無料セミナー「ISO39001 の概要」のお知らせ

JICQA ではISO39001 の概要について、担当講師がわかりやすく説明する無料セミナーを開催しています。初めて ISO39001 認証取得に取り組まれる方、または検討中の方におすすめです。

◆ 「ISO39001 内部監査員養成セミナー」のお知らせ

JICQA では「ISO39001 内部監査員養成セミナー」を 11 月 5 日より開講しました。

本セミナーは国土交通省より「平成 27 年度自動車事故対策費補助金に係る補助対策事業(安全運転推進事業)」として認定されておりますので、今年度限り、特別料金でご受講いただけます。

ISO39001 の知識がない方、内部監査員の経験がない方にもわかりやすい内容となっております。

各セミナーの詳細については、JICQA ホームページをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

担当：営業部 光守 (ミツリ)
(TEL : 03-5541-2752)

2 JICQA 無料セミナーの 2016 年 3 月までの開催日程を更新しました。

ご好評を戴いております JICQA 無料セミナーの 2016 年 3 月までの開催日程を更新しました。

開催概要は下記の通りです。各マネジメントシステムの概要が短時間でわかる入門セミナーです。特に **ISO9001 及び ISO14001 の無料セミナーは、2015 年版に対応した内容としてリニューアル**をしています。

◆ 対象マネジメントシステム規格

ISO9001(QMS:品質)、ISO14001(EMS:環境)、ISO27001(ISMS:情報セキュリティ)、ISO22000(FSMS:食品安全)及び FSSC22000(FSSC:食品安全)、HACCP、ISO20000(ITSMS:IT サービスマネジメント)、ISO22301(BCMS:事業継続)、ISO50001(EnMS:エネルギー)、ISO39001(N-RTS 対応)(RTSMS:道路交通安全)、OHSAS18001(OHSMS:労働安全衛生)、ISO29990(LSMS:学習サービス)、ISO20121(ESMS:イベント・サステナビリティ)

◆ 本セミナーの対象者

- ・これからマネジメントシステムの認証取得にお取り組みの方、又はご検討中の方
- ・マネジメントシステムの基礎を学びたい方

◆ 内容

- ・マネジメントシステム規格の概要を中心とする説明
 - ・JICQA の特徴や JICQA の審査手順等に関する分かりやすい説明
- ※主任審査員が講師を担当しているセミナーも多数ご用意しています。**

◆ 開催場所

- ・全国 6 か所の JICQA 公開研修センターを中心に開催

無料セミナーの終了後に「個別相談会」を開催しています。JICQA 無料セミナーのご参加申込書から併せてお申込みください。

※無料セミナーの詳細な開催要領及びお申込方法は、JICQA ホームページをご覧ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

担当：営業部 平塚
(TEL : 03-5541-2752)

QA 放談

QA 放談は今回が 11 回目の掲載です。今号は、審査本部 審査第 1 部の金野春幸が担当いたします。

～ 初めての海外工事での経験 - 37 年前、マレーシア ボルネオ島にて - ～

まだ国際電話を申し込んでから接続されるまでに 1 週間もかかった 37 年前、35 歳の頃、マレーシア国のサラワク州ミリ市(ボルネオ島)でガス管の配管工事を行った時の思わぬ出来事を思い出すままに書いてみた。

マレーシアのお正月

マレーシアのお正月は、イスラム教のマレーシアの大本山クワラルンプールで偉い司教が、お月様を観察して決める。現場の若い工事の監督から「ラジオで明日お正月になるか放送されるからよく聞いておいて」と言われたが、マレー語でのアナウンスなので、明日お正月になるか全く理解できなかった。ミリではよい天気だったが、クワラルンプールはお月様が顔を出さなかったとのことで、放送の翌日は仕事をし、次の日がお正月となった。予定していた日より一日ずれた。

次の日のお正月、仕事は休みになり、下請けの社長が近くのイバン族の町に連れて行ってくれた。クックファイティングのゲームを観戦した。胴元がゲーム毎にかけ率を決めるようで、強い鶏の相手はかけ率が高くなり 1:3, 1:4 となるそう。それに従って皆が賭ける。「見ているだけでは面白くないので賭けたらよい」とのアドバイスに乗って、勝負に投資した。クックファイティングとは、鶏の足に大きなナイフを取付け、土俵の中で鶏 2 匹を戦わせる。相手を倒す又は戦意を失い逃げ出したら勝負あり。残酷な勝負である。勝った鶏に賭けた人が配当を受けとれるとのことであるが、勝負はどちらが勝ったのか、どのように配当をもらえるのか、状況が判らずすっきりしない。言葉の壁を感じた一瞬であった。

街でよく鶏を大事そうに抱えている人を見掛けていたが、このための鶏であったのだと理解できた。

クックファイティングを見ながら、勧められるままに濁ったお酒をご馳走になった。このお酒の作り方を教えてくれた。人がお米をかんで口の中で発酵させたものを瓶に戻し、それを元に養生すること。サルが同じようにして口の中で木の実などを発酵させお酒を造ることを聞いたことがある。それと同じ方法と感心しながらも、なんとなく汚い。それを伝えるとアルコールだから大丈夫との返事であった。

大トカゲを食べた話

工事現場のすぐ近くに 2m ほどの大きなトカゲが現れた。皆逃げるのかと思っていたが、配管工事をしてきた作業員が全員でこのトカゲを生け捕り、バックホウで釣り上げ、体を裂いて食材にした。おかげで 2 日間は仕事にならなかった。その作業を指揮していたのはバックホウのオペレーターで、工事そっちのけでの大仕事をしていた。このトカゲの肉は朝食、昼食に出された。味は鶏肉をもう少しばさばさした油の少ないものであり、食用となる。食事を作ってくれたのは溶接作業の親方の奥さんで、云わば、飯場のおばさんで、作業員全員の世話をしている。その中に入れてもらい、食事をお願いしていたため、この食事にあっつた。食事代は 1 日いくらと決めて払っていた。トカゲの皮はどこに行ったか不明であるが、いい値段で売ったのではと推測した。

英語も中国語もマレー語もわからず、現場に乗り込んだが、人の親切とやさしさに支えられ何とか半年ほどの工事を完成させた。

変動相場制に移って間もない頃で、為替レートの動きが激しく、入札時 1 ドルが 180 円程度であったが代金回収時は 220 円位になり、差益が出たことはラッキーであった。

半年強という短い時間の工事であったが、初めての海外工事を担当し、一連の工事をする中で様々な失敗を繰り返した。この工事で、以心伝心などの期待は全く通用せず、言葉だけが通用する世界でした。理解できないものはしょうがないという認識を強く持つとともに、悩まないこと、人の言うことを素直に聞く心構えが必要ということを学んだ。若い頃のこの経験は、規格にもとづく組織と審査員による対話を通じての“システム改善”という現在の仕事にも通じていると思っている。



日本検査キューエイ株式会社 JIC Quality Assurance Ltd. (JICQA)

〒104-0041 東京都中央区新富二丁目15番5号(業務部:大西、樋口)

TEL:03-5541-2751 FAX:03-5541-2955